

16 工事

【関連章第6章2】

事例 「新築工事中建物の地下1階から出火した火災」

出火時分 1月 9時ごろ

用途等 事務所 耐火造 3/1 延 400 m²

被害状況 建物半焼 1棟 地下1階から3階及び搭屋部分 200 m²焼損 負傷者3人

概要

この火災は、新築工事中建物の地下1階で工事作業中に出火したものです。

出火原因は、工事現場作業員がディスクグラインダを使用し、金属製メッシュの切断作業を行った際、グラインダから飛散した火花が床のかさ上げ用に敷かれていた発泡スチロールに着火し出火したものです。

作業員が金属製メッシュの切断を終え移動しようとしたところ、防災シートが敷かれていない発泡スチロールから炎が立ち上がっているのを発見しました。発見した作業員は地下1階と1階に置かれた粉末消火器で消火を試みましたが火の勢いが強く消火できなかったため、周囲へ火事であることを知らせながら屋外へ避難しています。

通報は、3階で作業していた現場責任者が火災の知らせを聞き地下1階へ向かったところ火災を確認したため、周囲に知らせるとともに自身も避難しながら携帯電話で119通報しています。

教訓等

工事現場では、工事で使用する多量の可燃物や塗料等の危険物が所狭しに置かれています。工事作業員は、現場に潜む危険性を十分認識した上で作業を行うことが重要です。溶接溶断・グラインダ等火花が発生する作業を行う際は、事前に不燃シート等で周囲を養生し、付近に断熱材などの可燃物がないことを確認、さらに消火器等の準備をするなど火災予防対策を徹底しましょう。

また、工事の準備や作業を行う前に作業員全員が現場の配置状況、各々の作業内容、火気の使用状況並びに危険物の有無など認識して作業に取り組めるよう情報共有を徹底し出火防止につなげましょう。

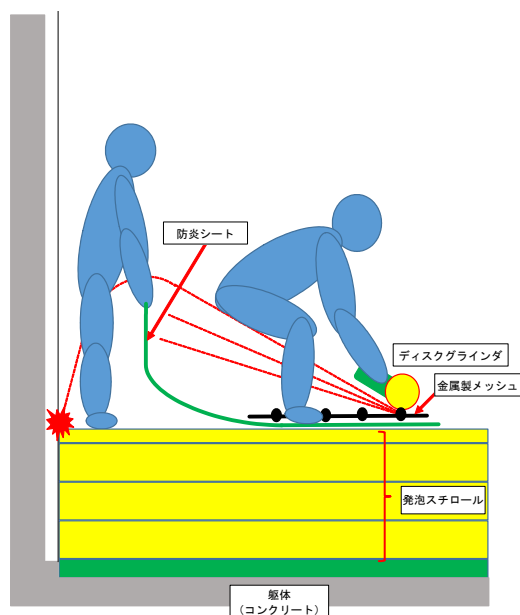


図 16-1 作業員の作業状況



写真 16-1 出火箇所の状況